

高田短期大学通信

TAKADA JUNIOR COLLEGE

2010年(平成22年)6月17日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会 第45号

本学の教育と 今年の取り組み

学長 栗原 廣海



平成二十二年度がスタートしました。本年度は、子ども学科百五十三名、人間介護福祉学科三十名、オフィス情報学七十二名、合計二百五十五名の新入生の皆さんを迎えることができました。少子化や進学動向の変化に伴って、入学者が定員を大きく割る短期大学が続出する中、定員の二百五十名を超える学生の皆さんを迎え、本学の使命達成に向けて教育に邁進できますことは、大学構成員全員、この上ない喜びとするところです。

本学の「使命」は、「少子化・子育て困難、超高齢化、そしてIT化が進行する現代社会から真に要請され、社会に貢献できる、高度な専門知識や技術・技能を身につけた、『やわらか心』の保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを育成するとともに、本学

ならではの仏教、子育て支援、介護福祉、ビジネス実務等に関する『知』のサービスを地域社会に提供し、地域の文化の発展と生涯学習環境の充実に寄与することにあります。私学である本学のこの「使命」が、「建学の精神」と「教育の理念」の上に掲げられているものであることは言うまでもありません。二年生の皆さんはもちろん、新入生の皆さんもすでに私の口から何度も耳にしたと思いますが、本学は「仏教精神に基づく人間教育」を建学の精神とし、「やわらか心の社会人の育成」を教育の理念としています。それぞれの学科でよく勉強し、専門知識や技術・技能は十分身につけたとしても、それらを駆使して真に社会に貢献するためには、自分のものさしを超え、他人のものさしを受け入れることができる、おらかな、柔軟な心がなければなりません。それが「やわらか心」です。保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを目指してそれぞれ専門の勉強に励むとともに、「仏教学」や「仏教思想」の授業、「宗祖降誕会」「灌仏会」「追弔会」「報恩講」等の行事への参加をとおして、「やわらか心」を培ってほしいと願っています。

さて、本学は、毎年ほぼ(〇〇%)の就職率を誇りますが、更なるステップアップを目指して、昨年、

文部科学省の「平成二十二年度大学教育・学生支援推進事業」のうち、「【テーマB】学生支援推進プログラム」に、「キャリアアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」というプログラムで応募し、見事に採択されました。現在、システムの構築はほぼ終了し、間もなく実用化の運びとなります。

この取り組みは、学生の学習やキャリア形成、就職活動支援体制を強化する目的で、就職情報ポータルサイト、及び学習ポートフォリオ機能をもった、キャリアアカルテシステムの構築を目指すもので、運用が開始されれば、学生の皆さんに対する、より緻密な教育支援や就職支援が可能になるとともに、卒業後も、このシステムを利用して、就職支援を受けることができるようになります。

本学は学生の皆さんの在学中から卒業後までを総合的に支援することにより、皆さんが卒業した後も、「高田短期大学で学べてよかった」と言っていただけの大学を目指して前進し続けます。皆さんのご支援・ご協力を切に願っています。



目次

学長のことは	1
トピックス	2
キャリアアカルテを用いた 生涯就職支援推進 プログラムについて	
キャリア支援室	
学生生活紹介	3
・新入生宿泊研修	
・学生への通学支援	
・外国人留学生支援センター	
学科記事	
・子ども学科	4
・人間介護福祉学科	5
・オフィス情報学科	6
学生自治会、 保健室、付属図書館	7
共同研究施設、公開講座 ・仏教文化研究センター ・仏典童話人形劇の活動	8
・育児文化研究センター ・平成二十二年度公開講座	9
人事、同窓会の近況	10
卒業生からのメッセージ、 貸借対照表	11
就職先一覧、編集後記	12

「キャリアカナルテを用いた 生涯就職支援推進 プログラム」について

学生支援推進GPA

実行委員長 伊藤 茂一

文部科学省の平成二十一年度「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)に、本学の三年間における事業提案が採択されました。

この事業は、学生の学習状況の成果や進路指導歴など学生に関するキャリアのログを一元管理するシステムを開発します。また、学士力の向上を図り、総合的な就職支援を進めていくプログラムです。

平成二十一年度は、キャリアカナルテシステム及び関連する学習ポートフォリオや就職情報ポータルサイトの構築と、卒業生の就職満足度を卒業生や企業・幼稚園・保育園等施設に追跡調査を実施しました。

これら事業の具体的内容は、次のとおりです。

①キャリアカナルテシステムは、GPA、資格取得状況等の学習成果、進路希望情報、インターンシップ歴、就職活動歴等々を掲載するとともに、就職情報ポータルサイトを整え、アドバイザ・教員やキャリア支援室職員

等が一貫した就職支援で、就職率、就職満足度、職場定着率が向上するように進めています。



②卒業後三年間の卒業生について、就職先の満足度等の調査を実施し、本学の教育活動の改善に繋げています。

③本学学生の就職先である企業、幼稚園、保育園、施設等にアンケート調査を実施し、本学学生に期待する学士力や人物像を把握し、本学における学生の教育の在り方を改善するよう努



めています。②③のアンケート調査結果を冊子にまとめ、報告会で配布しました。

④GPAの導入により学士力の測定や学習の軌跡を可視化し、学生支援体制を充実できるように進めています。

このGPAは、自分の学習効果を自分自身で把握ができるメリットがあり、科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることが目的です。このことから、GPAを学生自身が常に意識し、学習計画を立てることが大切になってきます。

⑤学士力の評価や就職支援の評価を実施し、この評価データを学内の自己点検・評価委員会に対して提供できるように進め、今後の教育活動等の改善に繋げていきます。

⑥年度末に研究成果報告会を開催し、本プログラムの進捗度や取組による成果等を公表し、今後の普及とあわせ、他大学等の実践活動との比較・検討を行いました。



⑦二月開催の就職講座で、この

システムを学生が活用する計画でしたが、システム開発に時間を要し、年度末にずれ込みました。平成二十二年年度には、このシステムを活用してキャリア支援ができるように進めているところ です。

⑧キャリアカナルテ及びGPA等について、先進大学に訪問をして学び、本学の取組が、より良いシステムの構築となるように進めています。

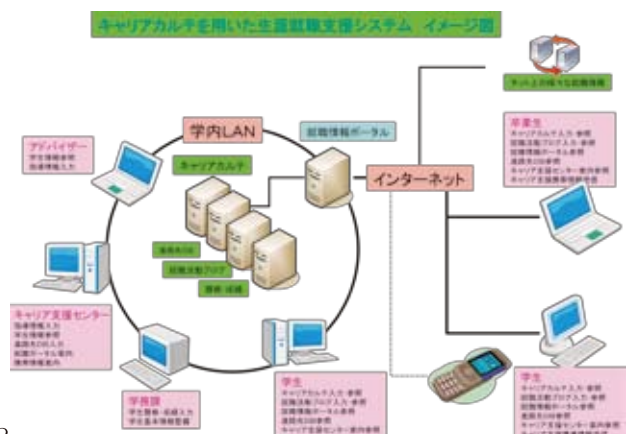
これら取組を、さらに充実・発展させ、学生時代だけでなく、生涯を通じた就職支援ができるようにして、卒業生にも満足度の高いシステムとなるように進めています。

キャリア支援室

本年度は、授業開始前の春休みの期間から、学生の皆さんが当室を絶え間なく訪れ、例年以上の緊張感と活気に溢れています。雇用環境が厳しさを増し、各事業所が新卒採用に慎重である情勢が、事務職希望者が大半を占めるオフィス情報学科のみならず、他の学科の就職にも影響が及ぶのではとの懸念が広まっているからかと思われま

益々早まる一般企業の採用日程に対応して、当室に備えられた求人情報ファイル、就活参考書、先輩の残した受験報告書等を使っている企業研究や採用試験準備、キャリアカナルテシステム導入に伴い更新された学生用パソコンを用いての進路・適職探しに熱心に取り組む姿からは、就職活動を通して、真の自立を目指し、日毎に成長し続ける若人の頼もしさが感じ取れます。

当室は、今後のキャリア教育充実のための種々の施策とも相俟って、高短生の進路・就職支援を中心に、キャリア形成をサポートし、卒業後も皆さんに有効利用いただけるよう機能整備に取り組んでまいります。



平成22年度 新入生宿泊研修

学務委員長 高木 直人

今年の四月は例年と比較すると寒い日が続き、肌寒い中宿泊研修は実施されました。

今年も例年実施されている、「白山ヴィレッジゴルフ倶楽部」で、四月二十二日から二十三日の一泊二日で実施しました。残念なことに、初日は大雨のために屋内での研修と限定されました。二日目は曇りで少し肌寒かったですが、屋外での研修も実施出来ました。

【新入生宿泊研修の目的】

この宿泊研修の目的は、学生同士の親睦を深めることが目的で実施されています。普段の学生生活では体験することがない、高田短期大学に入学してきた全学生がこの宿泊研修に参加し二日間寝食をともに過ごします。ここでの体験が学生にとって素晴らしい思い出になり、これからの学生生活より充実したものになるようにするために、教職員も力を入れて取組んで来しました。

【開講式】

アゼリアホールにて、一年生の学生全員参加を基本に開講式が実施されました。

【学科別研修会】

それぞれの学科で検討された内容を、この宿泊研修で実施されました。

子ども学科

一日目は、「すてきな保育者になるためには」の研修会を受けて、午後からパターゴルフの予定でしたが大雨のためにDVD鑑賞に内容が変更されました。充実した研修となりましたが学生は、パターゴルフをやりたかったようでした。二日目は、「10」の研修を受けました。この二日間は子ども学科の学生にとつては、



これから目指す幼稚園教諭や保育士への道に、確実な一歩踏み出したのではないのでしょうか？

人間介護福祉学科

一日目は、午前と午後を利用して、「お互いを知ろう」をテーマに研修に取組んでおりました。二日目は、予定していたパターゴルフに挑戦し、さらにチームプレーを行なうことによつて親睦を深めておりました。この二日間で、介護福祉士を目指す学生に必要なものは何かを知り、これからの学生生活をさら

に充実したものとする事になったと思います。



オフィス情報学科

一日目は、午前と午後を利用して、「未来予想図（みんな考えて、みんなで築こう、私の夢・みんなの未来）」をテーマに研修に取組みました。二日目は、パターゴルフで、さらに親睦を深めておりました。この二日間で、オフィス情報学科の学生たちは、学生同士の親睦をさらに強化し、ゼミ以外の新しい仲間をさらに増やし、充実した二年間の学生生活をこれから歩むための準備が出来たと思います。

【無事に終了】

学長が開講式で述べられた宿泊研修の目的である、親睦を深めることを達成でき、病人もなぐ無事に終わることが出来てほつとしました。

学生への通学支援

本学では学生の皆さんの利便性、防犯・交通安全の確保、及び環境対策の一環として、津駅より本学までの直行スクールバスを平成二十一年度から運行しています。

そして、この四月よりバスの台数を新たに三台から四台へと増車し、スクールバス運賃を無料としました。併せて学生駐車場利用料も無料となりました。

学生の皆さんには通学費の軽減のみならず、手続きの簡素化などの様々なメリットとなったことでしょう。

皆さんにとって、このような通学負担が軽くなることは学務

課としても、大変うれしく思います。

しかしながら、一方で、バス利用時の津駅周辺、学生駐車場の規則を守ることに加えて、エチケットやマナーが皆さんに求められることとなります。

どうか社会人への階段と思ひ、楽しくも充実する「通学」としててください。そして、配慮、気配り、譲り合うことのできる人格を培ってください。



外国人留学生

支援センター

本学には現在二年生に十二名、一年生に九名の外国人留学生が在籍しています。これまでは留学生からの相談や要望を学校が直接受け付ける部署がありましたが、本年度より外国人留学生支援センターが設置されました。

外国人留学生支援センターは、学務課・入試広報課・保健室か

らのメンバーで構成されていますので、入学に係ること、授業履修や成績に係ること、学校生活に係ることや身体や心の悩み等、多岐にわたる相談に応じます。

さらに、入国管理局への各種申請の代行や、アパートの斡旋、家電製品や日用品等の貸与も行ないます。

また、外国人留学生支援委員会と連携し、月に一回程度留学生との懇談会も開催する予定です。



今回は山崎学科長の研究室で、学生さんたちに「子ども学科」についてお話していただきました。子ども学科の生の声をお伝えします。



【写真左から】水谷梨央(2年)、出口早希(1年)、山崎征子学科長、樋口沙織(2年)

山崎「一年生は入学して一か月がたちましたが、学生生活はどうですか？」

出口「私は今一人暮らしをしているのですが、食生活や自分で朝起きることが大変です。」

水谷「さみしくない？」

出口「さみしいです(笑)」

水谷「でも自立心が養われそう。何か心配事はない？」

出口「生活のことよりも、今は実習が心配です。」

樋口「最初の見学実習はあっという間に終わった記憶があるなあ。」

水谷「私もただ子どもたちと遊

ぶことに夢中だった。今ならあの時の保育者の行動や子どもたちの言葉一つひとつに意味があったんだと分かるのに。」

山崎「それだけあなたたち二年生は成長したという証ですね。」

出口「私もようやく最近、保育の仕事は子どもと遊ぶだけではないということが分かってきました。」

樋口「私は今、保護者や子どもが育ってきた背景についてよく考える。」

学生「保育って難しいよね。」

山崎「それが子どもという親の宝物を預かっていう責任というものですね。では、授業についてはどうですか？」

出口「九十分という長さに最初は戸惑いました。」

学生「一分かる(笑)」

樋口「でも保育内容―表現―や実習研究なんかの授業は、保育経験のある先生方が、現場での事例を基に話していただけるので楽しかった。」

出口「私は幼児体育の授業で創作ダンスを踊るのが印象的でした。」

山崎「子ども学科全体の印象はどうですか？」

出口「大学の設備に驚きました。特に育児文化室！」

水谷「私は、色々な経歴を持たれた先生方がみえて、失敗談や問題点も包み隠さずに聞かせていただけるのがホントにありがたいって思います。とにかく子ども学科の先生方は頼りになっ

て心強い。」

出口「私がレポートを提出したときに、一人ひとり全部添削されて返ってきたときは、その熱心に驚きました。」

山崎「確かに先生方は皆さん教育に熱心な方ばかりですね。では、子ども学科に何か要望はないですか？」

水谷「実習と授業がもう少しシクロしているといいです。授業で勉強したことを実習で確認できるような形で。」

山崎「実は、そこは前から気になっていて、今年度から実習の時期を全体的に遅くしました。でも、保育者養成は二年間通してのもの。実習で見つけた課題を大学に持ち帰って学ぶのも一つの形ですね。」

樋口「二年間の流れを考えれば、一年生の今頃は、とにかく子どもとの関わりを楽しみたいと実感することが大切だと思う。」

山崎「そうですね。今度の見学実習は、そうやって保育者を目指す気持ちを改めて確認することが大切ですね。」

水谷「その先は、ここで学んでいけば少しずつ自然と意識が高まっていくと思います。」

山崎「それぞれが目指す保育者像を探しながら、一つひとつ経験を積み重ね、様々な人と交流を持ち、豊かな人間になって下さい。それが私たちの願いです。」

学生「がんばります！」



先日、保育者時代の卒園児から便りがありました。保育室の片隅で夢中に絵本を読んでいた子が、新しい中学校の制服を着て晴れやかに微笑んでいる姿を見ていると、当時の保育を振り返りながら人を育てることの重みを改めて感じました。

このような保育者の省察に関する研究を概観していると、行為中の振り返り・行為後の振り返り、期や月など大きなまとまりの振り返りが重要であると言われています。しかし実際には、①日々の記録に追われて子ども

の成長につながるような本来の「たかたんせい」になって一年



子ども学科 2年 山口 果歩

高田短期大学に入学して、あっという間に一年がたちました。親しい友達もでき、みんな毎日楽しい「たかたん生活」を送っています。私個人としては、自治会やボランティアなどにも積極的に参加させていただき、自ら進んで活動することの大切さを学びました。また、子ども

省察になりえていない、②保育者の省察が自己評価という言葉にすり替えられて子どもの実態を見つめる機会を失いつつある、③目の前の保育に終始してしまい卒園後の育ちを見据えた援助が難しいなどの様々な課題が浮き彫りにされています。

しかし、生涯発達の観点から考えると、教師や保育者は、日々の省察が子どもの育ちの道筋にどう活かされているかを常に問い続けながら、目の前の子どもたちと向き合うことが大切だと感じます。「人が人を育てること」とは大きなテーマですが、この意味を自分の言葉で語ることができなければ、教育・保育の本質は見えてこないのではないかと思います。卒園児からの手紙を契機に改めて自らを振り返りたい、そんな気分になりました。

たちが色々なことを吸収して成長する乳幼児期に関わる保育の仕事、改めて素敵な仕事だと感じるようになりました。「たかたん」は私たち学生にそんな機会をたくさん与えてくれる場所です。

残り一年の「たかたん生活」で後悔しないように、私は何事にも積極的に関わり、多くの人と接していきます。そして優しく、明るく、思いやりのある「素敵な人」を目指して、みんなと一緒に夢をかなえ、笑顔で卒業できるよう頑張っていきたいと思います。



介護福祉を学ぶ学生たちの活躍

学科長

千草 篤磨

人間介護福祉
学科は今年で開設五年目となり、

ようやく五十人の卒業生を社会に送り出したところです。昨年は政権交代という大きな出来事がありましたが、超高齢社会の進行の中、介護福祉分野の人材養成は新政権にとって大変重要な課題となっています。厚生労働省も様々な対策を講じているところですが、昨年、「介護職の給与を数万円アップする」という対策がなされたことがマスコミの報道でも話題になりました。また、介護福祉を学ぶ学生に対しては「介護福祉士等修学資金貸付制度」が注目されています。これは、二年間で一六〇万円の奨学金が貸与され、介護福祉士資格を取得して県内で五年間介護業務に従事すると全額返還免除になるというものです。今年度新入生の中でも一五人の方が

利用しています。また、今年度より本学独自の「高田短期大学介護福祉士就労予定者奨学金制度」も設けられ、二年間で四十万円の奨学金が希望者全員に支給されることになりました。これは一切返還の必要はないものです。

さて、本学科では「地域福祉への貢献」と「社会福祉施設との連携」を通して、学生と教員が研究を深める「プロジェクト」を実施してきました。以下にプロジェクトに参加した学生諸君の生の声を紹介します。

季節を感じ、楽しい時を過ごす

人間介護福祉学科 2年

宇田真弓・奥林美咲

今回報徳園で交流会をさせて頂きました。最初に利用者の皆さんの馴染みのあるつくしの話をしました。二分程度を考えておりましたが、コミュニケーションを取りながら進めているうちに予定より長くなってしまいました。レクリエーションでは冬將軍に扮した学生に、皆さん一致団結して玉をあて、冬將軍が逃げていくという内容でした。次に「春が来た」を一緒に歌い、歌詞に合わせ蝶や花、風の衣装を着た学生が舞いました。利用者さんと握手をして触れ合ったり、衣装の一部を贈呈する等の時間を共にし、皆さん元気で楽しそ

うにしておられました。

最後の挨拶で利用者から「もう一度冬將軍に会いたいのう」という有り難いアンコールを頂き、冬將軍が再び登場しました。冬將軍は、玉をあてられたり、握手を求められたりと利用者の皆さんから大変好評でした。学生が協力して作ったメッセージ付き桜の貼り絵を利用者の皆さんに贈呈しました。

短い時間でしたが利用者さんの皆さんと交流が出来、また皆さんの笑顔を見ることが出来ました。



千里きつさ わらい

人間介護福祉学科 2年

尾崎 美香

津市河芸町の千里ヶ丘地区では地域でお年寄りの孤独死や介護心中等、高齢者に関わる今日的な問題が発生しました。そこで二〇〇九年六月から地域住民の皆さんと協力して月一回、お年寄りたちが気軽にしゃべりできる場として「千里きつさ わらい」が開かれています。私たちは受付や話し相手として活動に参加させていただいています。毎回来ていただいた皆さんに学生からプレゼントをお渡ししています。このプレゼントは



中川 千代

私が縁あって特別養護老人ホームに勤めた当初から、すでに二十年以上の月日が過ぎました。その施設は、三重県で四番目に古い施設だっただけに、廊下や食堂やホールは狭く、機械浴室には脱衣室もなく廊下をカーテンで仕切って空間確保していました。部屋は六人部屋で隣のベッドとの幅は車いすがやっと一台入れるほどしかありませんでした。それでも、明るさと活気があり、旬の食材をいち早く取り入れたメニューや毎月の行事は皆が楽しみにしていました。敬老週間には職員が職種を越

学生が手作りで作製しており、季節を感じていただけるような作品を作り、次回への御案内を含めメッセージカードもお渡ししています。来ていただいた方には、後々、このお土産を玄関などに飾っていただいています。そこにお客さんがくると「わらい」を知っていただけて、一人で来ていただいていた方が二人で来てくださるようになりました。一方で、参加している学生の多くはボランティアの意味

えてグループを作り、利用者へ素人演芸を披露する会が催され、とても人気があり何カ月も過ぎてからでも利用者から話題にのぼるものでした。

生活の場である施設は、大勢の利用者が共に生活しているだけに集団生活の様々なルールがあります。個別ニーズに添えつつも小さなコミュニケーションとして協力し合いながら生き生き暮らしている居心地のよい空間であってほしいです。居心地のよさは個人差があるにしても、職員の笑顔やどんな慌ただしい場面でもゆつたりと優しく接してもらえなこと、意見や要望が聞いてもらいやすい雰囲気は重要な要素です。居心地のよさを醸し出せる介護福祉士が育成され生活の場が充実していけるよう協力できれば幸いです。

や楽しさを知ることができ、毎月の「わらい」を楽しむにしています。またうれしいことに三月には、先輩方が感謝状を頂きました。既に四月の「わらい」では新入生の四名が参加してくれました。





オフィス情報学科から オフィス人材育成学科へ



学科長

鷲尾 敦

平成二十二年度、オフィス情報学科は、定員の二割増となる七十二名の新生を迎えることとなりました。厳しい経済状況であるからこそ、オフィス情報学科の人材育成の教育活動や取り組みが、地域から期待されているのだと思います。多くの学生を地域の方々に受け入れられる人材として育成していかねばならない責任を強く感じています。

さて、昨年、この紙面上で三つのことをしたいと書きました。①教員の授業改善活動、②学生の学習成果の見える化、③カリキュラムの見直しの三つです。一つ目の授業改善については、チーム力の育成ということを特に強調しました。今年度、それをビジネスリテラシー演習という科目で試行します。グループワークを通じて協働し探究する力をつけることをねらいとした科目です。今年は、高田本山や

一身田寺内町をテーマに掲げ、ゼミ単位で活動します。どのようになるか未知数ですが、大学祭で成果を発表する予定です。是非ともご来場ください。

二つ目の学習成果の見える化ですが、一つのヒントを学科の先生から頂きました。入学前も含め、卒業までに身に付けた人材としての学生の實力を計り、レベル分けして「オフィス人材スペシャルリスト」というような称号を学科で学生に与え表彰するというものです。次の内容とともに二十三年度に向けて具体的に計画したいと思っています。

そして、三つ目のカリキュラムの見直しを昨年度行いました。改訂を検討するために前提として本学科のディプロマポリシー（学位授与方針、育て上げる目標）、アドミッションポリシー（入学者受入方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）を見直し、本学科が地域のオフィスで有用な人材を育成する学科であることを改めて学科教員で確認しました。その結果、本学科の目標とそれを実現するカリキュラムであることがわかるような学科名称に変える必要性が課題となりました。

本学科は、平成十三年度に教養学科からオフィス情報学科に改組転換しました。職業教育を充実させ、時代の社会的要請であった情報処理能力の育成に力を入れていることを示す名称です。その後、時代に応じて科目を改善し、キャリア教育やビジ

ネス実務専門教育を充実させ、地域の様々なオフィスで必要とされる人材を育成してきました。

そして、改組転換から十年が経ちました。本学科は、現在、オフィスワーク、簿記会計、情報、キャリアなどの科目領域をバランスよく配置しています。情報やITの活用能力は職業人にはますます必要となるスキルですが、必要なのはそれだけではありません。本学科は、目標に向けてバランスよい科目で人材育成を進めています。新名称は、そのことがわかるように「オフィス人材育成学科」としました。

平成二十三年度より名称変更するよう手続きを進めています。今後とも本学科の教育にご理解を頂くとともに、ご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。

短大生活1年が過ぎて

オフィス情報学科2年

政木 郁美

高田短期大学に入学してから早くも一年が経ちました。普段の学校生活は勿論、就職活動も始まり、二年生になった今でも期待と不安の毎日を過ごしています。そんな中で一年間を振り返ってみると、私にとって多くの世界を広げてくれた一年だったように感じます。

入学して、生まれて初めて検定に挑戦しました。ゼミナール活動ではシニアとキッズを対象としたパソコン教室を情報ボラ



感動

高木 直人

私も、今から二十五年前は、現役の短大生だった。私が学んでいた頃の短大と現在の学生が学んでいる短大の姿を比較するとずいぶん変わったものだ。その中でも、パソコンの存在は特別なものだ。私の学生時代には、パソコンは今ほど普及していなかった。また、その頃のパソコンは、大変高価なもので、学生が自宅に持っている事などまれだった。

そんな学生時代に、経営系の短大のある先生の研究室で、自由に使えるパソコンが一台なぜ

ンティアの方々と力を合わせて運営してきました。そこで自分の思いを相手に伝えることができる喜びや難しさを学ぶことができました。

この一年私が前進できた一番の要因として、一緒に寄り添いサポートしてくださる先生方、切磋琢磨し「一緒に頑張ろう」と言い合える友人達。様々な人と出会いがあったことで、一歩一歩踏みしめながら成長することができたのだと感じています。残りの短大生活では、きつとこれからの人生において、とても重要な選択をする機会がある

があった。そのパソコンは、私の記憶では、富士通の16βというパソコンであったと思う。私は夏休みに、研究室のパソコンを利用し、ベータシックを利用したプログラムでゲームを作成していたのだ。その理由は、何かのパソコンの本を読んで、私にも作れるのではないかと、私に流でプログラムを組んだのだらう。私が我流でプログラムを組んで作ったものだから、当然ゲームは単純なゲームだ。しかし、我流で作成したプログラムでゲームが動いたとき、ものすごく感激し、まわりの友達に自慢したことを思い出した。

学生時代は、社会人と違って好きなことや、やりたいことに時間が使えたのだと、文書を書きながら感じるのであった。

と思います。そんな時、五感を研ぎ澄まし、少しづつ人として成長できるよう自分らしく頑張っていきたいと思っています。



学生自治会

皆さんこんにちは！私たちは執行部十二人です。よろしくお

願いします。私たち執行部の活動は、先輩達と取り組んだTJC祭から始まりました。先輩達を送り出して私たち執行部十二人も今年度の行事に向けて活動が始まりました。各学科のリーダーたちと一丸となり頑張っています。毎週の会議では、学生生活が楽しく送れるよう話し合っています。

先日、ゴールデンウィークに、津松葵で開かれた「ミス三重と青い目の人形展」に参加させて頂きました。三重大学・看護大学・三重短大・高田短大の四校の代表が集まり、各大学が模擬店を出し、地域の皆さんと触れ合うことができました。

そして、高短の一大イベントである高短祭に向けて動き始めています。今年の高短祭は、十月二十三日（土）、二十四日（日）に行われます。高短祭も今年で四十五回と言う節目を迎えより一層



盛り上げて行きたいです。昨今の良い点、悪い点を話し合い、企画を考えて行こうと思います。ぜひ皆さんも要望や案を自治会役員に聞かせて下さい。よろしくお願ひします。

その他にも意見や要望を気軽に寄せて下さい。

私たちも、就職活動が始まりこれから忙しい日々が続きますが、自治会活動も両立させて行きたいと思っています。私たち執行部十二人は、より良い学生生活を送れるように頑張っています。

皆さんも一緒に素敵な短大生活を作ってください。執行部十二人をこれからもよろしくお願ひします。

私たち執行部の活動内容

- ① 学生自治会の年間業務の企画・予算
- ② 「高短祭」の計画、実施
- ③ 卒業アルバム編集
- ④ 謝恩会の企画・実施
- ⑤ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会の開催
- ⑥ TJC祭の企画・実施
- ⑦ ボランティア活動など



昨年、ハイチ大地震支援の緊急募金活動を学内で行いました。
31,887円集まり、ユニセフを通じて現地へ送られました。

保健室

学生の皆さんが、体だけでなく心の面においても、より健康に楽しい短大生活を送れるように、お手伝いしたいと常に保健室に在室し奮闘しています。例えば、けがや体調不良などの対応、そして健康診断と保健指導、更に麻疹（はしか）・インフルエンザなどの感染症予防対策などです。

また、「ちょっとホッと

んの了解のもと、学外から来て頂いているカウンセラーへのつなぎも行なっています。しかし、保健室だけが奮闘していても事態は改善しません。「自分の身体は自分が守る」という学生さん一人ひとりの意識と行動が重要です。保健室と共に、自分を持つている「生きる力」を見つけてみましょう。卒業生の方も利用できます。ご連絡を待っています。

TEL 059-253-1703
Eメール mori@takada-jc.ac.jp

付属図書館

この四月から図書館のレイアウトを変更しました。一階にパソコンを新たに四台設置し、近くに資格取得や就職に役立つ問題集、業界研究シリーズ本等を集めた書棚を配置しました。インターネットや各種の専門誌、図書と合わせてぜひ活用してください。

また、AVブースを入口近くに移動しました。授業の合間などに、雑誌や新聞



とともに、気軽に利用してください。図書館は一般開放もしており、卒業後も利用できます。詳しくはホームページをご覧ください。

仏教文化 研究センター

センター長代理 采翠 真澄

ここ数年、高田短期大学仏教文化研究センターは新しい試みにチャレンジしてきました。

まず専門研究においては、平成十九年に『翻刻 顕正流義鈔蒙引』を刊行し、現在はそれを基に、毎月一回の研究会を開催しながら共同研究を進め、『顕正流義鈔の研究』（仮題）の刊行を目指しています。

また、当センターの地域貢献活動として、これまで仏教行事の一般開放や仏教文化研究センター公開講座を行ってきましたが、昨年度は新たに、仏教に興味を持つ方々にその学びのきっかけをご提供したいとの思いから仏教入門講座をスタートしました。この講座は何よりも分かりやすく親しみやすい内容であることを大切に、毎回花岡大



学さんが著された仏典童話の中から一話を題材にして講義してきました。おかげさまでこ



らは定員数を大幅に上回るお申し込みをいただき、後期分は会場を広い部屋に変更ざるを得なくなるほどでした。本年度も引き続き、当センター研究員により仏典童話を題材にした講座を開催していきます。

入門講座だけでなく、仏教行事やセンター公開講座も、ここ二、三年ご参加いただく方が大変増加しています。今の時代だからこそ、地域の方々の仏教・仏教文化への関心が高まっているということでしょうか。こ



仏教行事

●宗祖降誕会（一般開放します）

5月17日（月）14時50分～16時10分

●灌仏会（一般開放します）

6月21日（月）14時40分～16時10分

●追弔会

10月18日（月）14時40分～16時10分

●報恩講（一般開放します）

12月6日（月）14時40分～16時10分

仏教文化研究センター公開講座

第1回講座

9月18日（土）13時30分～15時30分

講師 新 光晴

講座 「親鸞の文字世界」

第2回講座

10月2日（土）13時30分～15時30分

講師 藤田 正知

講座 「現代人の宗教観と真宗」

仏教入門講座（前期）

第1回

4月20日（火）15時30分～17時00分

講師 新 光晴

第2回

5月19日（水）15時30分～17時00分

講師 金信 昌樹

第3回

6月24日（木）15時30分～17時00分

講師 藤田 正知

第4回

7月21日（水）15時30分～17時00分

講師 清水谷 正尊

第5回

8月25日（水）15時30分～17時00分

講師 栗原 廣海

第6回

9月17日（金）15時30分～17時00分

講師 松山 智道

※仏教入門講座（前期）の受け付けは終了しています。後期日程については現在検討中です。

仏典童話

人形劇の活動

昨年度、新たに始めた仏典童話人形劇応援隊。これは本学に付属する「仏教文化研究センター」と「育児文化研究センター」という二つの研究機関が初めて協力して行った取り組みでもありました。

仏教文化の研究と育児文化の研究、一見何の関わりもないようにも思われますが、仏教保育という形態で子どもたちの育ちを支えている保育所・幼稚園が数多くあります。

この仏典童話人形劇応援隊は、それら仏教保育を行っている園に人形劇の出前をして、仏教保育の一つの形態をご提案するとともに、人形劇を通して子どもたちに「やわらか心」を伝えていこうというものです。

平成二十一年度は、学科を超えて集まった有志学生十人（二年生五人、一年生五人）が、仏典童



話人形劇「縁起人」を編成し、それこそ何もない状態から脚本や人形、舞台等を製作し、試行錯誤を繰り返して演技の練習に取り組みました。

そして平成二十二年一月二十三日（土）、高田保育園様の遊戯室をお借りして、縁起人は記念すべき第一回公演「わがまま王子」を行うに至りました。当日



は園児さんとそのご父兄約七十名の方々に観ていただき、手遊びや人形との触れ合いなども交えながら楽しい時間を過ごすことができました。

平成二十二年度は、これらの経験を糧にさらに内容を充実させ、また出前後も保育所・幼稚園だけでなく、社会福祉施設や本学の各種イベントでの公演も計画しています。

今後の高田短期大学仏典童話人形劇応援隊の活動にご期待ください。



育児文化 研究センター

主任研究員 橋本 景子

当センターは平成十六年十月、大学での教育、研究の成果を社会に還元するため、地域への協力機関として開設されました。定例事業としては、出前講座、定例研究会、『高田短期大学育児文化研究』と『IKUBUN NEWS』の発行を行って参りました。

そして平成二十一年度は子育て・子育てを応援する地域支援プロジェクト事業として、次の五企画が実施されました。

(1)「子育てママのホッとひろば」
小さなお子さんをお持ちの母様方に、心身共にホッと頂く場を提供したものでした。



(2)「保育教材を作ろう！」
—手作り絵本に挑戦!—

次世代育成応援の一環で、中・高校生が参加し、個性溢れる絵本を完成しました。

(3)「親と子のための音楽あそびひろば」

三重県総合文化センター第一リハールサル室において、就学前の親子と一緒に生の音楽に触れ、楽しいひとときを過ごしていました。



(4)「子どもの心をわくわくさせる絵本」

四日市市立博物館の講座室において、音楽と絵本を融合させたプロによるお話の世界が展開されました。

(5)「子どもの心を育む絵本の読み聞かせ」

親子を対象に絵本の読み聞かせを行い、その楽しさや意義に触れていただくため企画しました。四回行った最終の講座では、絵本の持つ魅力や絵本の与え方についてのお話もありました。その他にも「子育て応援隊」として、四十五の行事に参加しました。

平成二十二年度は、地域子育て支援事業として「育児文化室地域開放事業」と津市との連携事業「子育て応援！元氣っ津まつり」、また、育児研究の充実を目的に「育児文化研究促進事業」を新規事業として計画しています。

本センター六年目の今年、今までの取り組みを基盤にさらなる活動の充実を図っていきます。



平成22年度 高田短期大学 公開講座

高田短期大学では、生涯教育の場を提供することで地域社会へ貢献するという目的のため、毎年、公開講座を開講しています。
今年度は、次の5つの講座を開講する予定です。

講座①

テーマ 「子どもの心と大人の心」

講師 小池 はるか(本学助教)

日時 8月21日(土)

午後1時30分～午後3時30分

申込期間

7月21日(水)～8月18日(水)

受講料 無料

講座②

テーマ 「安寧なまちづくり

(河芸町の実践を通して)」

講師 佐藤 完(本学教授)

日時 7月3日(土)

午後1時30分～午後3時

申込期間

6月3日(木)～6月30日(水)

受講料 無料

講座③

テーマ 「はじめの1歩

Word2007入門講座」

講師 鷺尾 敦(本学教授)

川喜田多佳子(本学講師)

平成23年1月23日(日)

午前9時30分～午後4時30分

※1時間休憩あり

申込期間

受講料 12月22日(水)～1月19日(水)
500円(資料代)

講座④

テーマ 「『文書をセンスアップ』

Wordレイアウト&

デザインテクニック」

講師 川喜田多佳子(本学講師)

日時 6月26日(土)

午前10時～午後4時

※1時間休憩あり

申込期間

5月26日(水)～6月23日(水)

※申込数が定員に達しましたので、受付を終了いたしました。

受講料 500円(資料代)

講座⑤

テーマ 「クラウドコンピュータ活用術

インターネットをもっと

活用しよう」

講師 鷺尾 敦(本学教授)

日時 7月31日(土)

午後1時～午後4時

申込期間

6月30日(水)～7月28日(水)

受講料 500円(資料代)



着任のみなさん

新しい出会い
— 爾今 —子ども学科
宮崎 つた子

四月より子ども学科で乳児保育・保育内容の健康領域等を担当させていただくことになりました。科目では、子どもの発達のすばらしさを多面的・科学的に伝えていきたいと思っています。

今後、地域に求められる教育機関の役割に少しでも貢献できるように微力ながら努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。

実践力の養成
子ども学科
北川 剛司

この四月より子ども学科で「教育方法」および「保育内容―言葉」の分野を担当させていただきます。教育方法は実践的な学問ですので、保育現場に対応できる応用力・実践力が身につくような授業をして参りたいと思います。学生のみなさんが、社会にでて活躍されることを願って、本学での教育に努力・精進いたします。

共に学ぶ
人間介護福祉学科
中村 智子

四月より人間介護福祉学科で心身の理解と認知症について、子ども学科では小児保健を担当させていただくことになりました。人間理解や、人と人の関係から得ることができる喜びや充実感を伝えていきたいと思っています。そして、学生のみなさんと共に学び、成長したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学生の個性を大切に
オフィス情報学科
川喜田 多佳子

これまで非常勤でお世話になっておりましたが、本年度より常勤として着任することとなりました。まわりの皆様より細やかな対応をいただいたことで今日の自分があることを忘れず、学生第一をモットーに邁進したいと思っています。教務以外の業務では戸惑うことが多くご迷惑をお掛けしますがご指導をよろしくお願いいたします。

着任にあたり
学務課長
金丸 博文

四月より学務課にお世話になることとなりました。伝統ある高田短期大学の学生の皆さんの勉学環境・行政サービスの向上に微力ながら全力を尽くしてまいります。

また、少しでも多くの方々に感謝してまいりたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

感性・知性・動性を磨く
広報入試課参事
浅尾 正男

四月よりお世話になっております。「和道」の心を大切にしみなさまのお役にたてるよう、一日一生の想いで微力を尽くして参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



《平成22年度 人事》

○退職

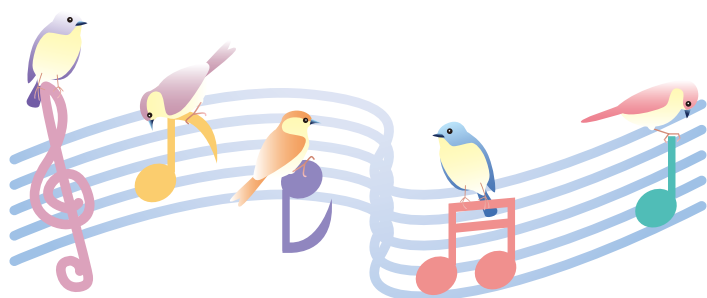
教 授	大西 眞純
教 授	梶 美保
特任教授	武川 眞固
准 教 授	中野 美雅
准 教 授	内藤由佳子
講 師	織田紀代子
事務局学務課長	松浦 幸代

同窓会の近況

北端 一子

田の中で、蛙の卵を見つけてました。久しぶりに目につきました。田植えの最中に見つけ、卵の中に小さなおたまじゃくしがいるように見えました。なにかとつても嬉しくなりました。蛙の合唱を聞きながら田植えをしていたからかな。早くおたまじゃくしになって、蛙になつてと思つてしまいましたが。蛙の声がそのように聞こえたからかなと、自分なりの解釈です。

さて、同窓会の役員会が四月二十六日にありました。今年の高短祭のバザーについて、理事への報告について、高田学園の近況、情報交換などを話し合いました。二回目は、理事さんへの封書の準備です。理事の方が増えてきました。卒業しても高田短大のことを、いつも気にかけていただき同窓会を盛り上げていただけたらなと願っています。三回目は、高短祭のバザーの日です。準備と販売です。売り上げが、各クラス同窓会の通信費への補助にしています。四回目は、一年間の反省とこれからの取り組みについて話し合います。同窓生の皆さん、一緒にバザーをしましょう。



卒業生からの
メッセージ

①勤務先 ②就職して嬉しかったこと、
辛かったこと ③将来の夢 ④高田短大
とは ⑤後輩へのメッセージ

夢を実現して

子ども学科 平成19年卒

池田真由美



①津市たるみ児童福祉会館②子どもの笑顔に囲まれながら、日々の成長に携わり「大きくなったなあ」と実感する瞬間。また、可愛い寝顔を見るとこの職について良かったと思います。逆に、父母を思い泣く姿や、家庭復帰に失敗し戻ってきた子どもを目の当たりにしたときは、とても苦しかったです。子どもが好きという想いだけでは、何もできない現実を知り、無力な自分に悔しさを感じました。③できる限り長く現場で子どもたちと関わり、子どもが笑顔で生活できるよう手助けしていける職員になれればと思います。日々勉強し、初心を忘れず子どもたちと関わっていきたいです。④素敵な友人や先生に出会えた場所です。この出会いがあつて今の私があります。そして、高田短期大学は私の夢を叶えてくれた場所です。⑤就職してから、も

っと勉強しておけばと悔いることがあります。短大で過ごす時間はとても貴重です。楽しく有意義な時間を過ごしてください。

介護福祉士の仕事

人間介護福祉学科 平成21年卒

津村 絵梨



①社会福祉法人はまゆう会特別養護老人ホームフルハウス②介護福祉士として利用者と関わる中で、利用者の明るい表情や安心する表情を目にしたとき、この仕事はとてやりがいのある仕事だと実感します。しかし、介護福祉士として未熟な為、利用者一人ひとりの依頼に対して十分に答えられないのだからかと、多々考えることもあり。③利用者一人ひとりに合った介護が出来る介護福祉士になりたいと思います。また、安心して生活してもらえるよう常に利用者の気持ちになつて考え、日々成長していきたいと思います。④介護福祉士の資格はもちろんのこと、介護の現場で役立つ様々な資格を取得することが出来、視野を広げることが出来ると思います。⑤授業や実習で介護の知識をたくさん身につけていって下さい。辛いこともあると思いますが、その分ともやりがいを感じることもき

っとたくさんあると思います。頑張ってください。

社会人という新しい自分

オフィス情報学科 平成21年卒

笠井 美幸



①三重交通商事株式会社②仕事場のみんながしゃべりかけてくれて優しく接してくれることがとても嬉しい。しかし、簿記の知識が少なく、経理の仕事覚えの苦勞しています。③今できることを精一杯やり、しっかりと身に付け、将来は「できる女！」としてみんなに認めてもらいたいと思っています。④友達と過ごした日々は笑顔の絶えないとても楽しくかけがえのないものでしたが、何よりも先生方が自分のことのように必死になつて私たちのことを考えてくれる、そんな暖かい場所です。⑤遊ぶときはしっかり遊び、学ぶときはしっかり勉強する。このけじめをつけたとき、一人の人間として立派に成長できると思います。学生の中での経験は今後も役に立つていくと思うので、いろんなことにチャレンジし、日々自分を磨きながら、頑張っていってください。

公 告 平成21年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表 (平成22年3月31日)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(8,640,952,543)	(8,502,316,542)	(138,636,001)	固定負債	(702,072,589)	(1,021,243,348)	(△) 319,170,759
有形固定資産	(7,358,741,525)	(6,952,312,488)	(406,429,037)	長期借入金	400,000,000	700,000,000	△ 300,000,000
土地	860,411,227	860,411,227	0	退職給与引当金	302,072,589	321,243,348	△ 19,170,759
建物	5,162,137,175	5,114,013,468	48,123,707	流動負債	(724,416,484)	(754,691,104)	(△) 30,274,620
構築物	912,795,338	230,184,429	682,610,909	短期借入金	300,000,000	300,000,000	0
教育研究用機器備品	175,735,665	191,151,220	△ 15,415,555	未払金	39,503,728	77,903,237	△ 38,399,509
その他の機器備品	7,974,653	6,589,576	1,385,077	前受金	307,683,335	299,610,135	8,073,200
図書	201,977,989	198,063,090	3,914,899	預り金	24,638,837	23,208,226	1,430,611
車輛	7,790,000	1,100,000	6,690,000	修学旅行費預り金	49,218,584	50,347,506	△ 1,128,922
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	卒業諸費預り金	3,372,000	3,622,000	△ 250,000
建設仮勘定	0	320,880,000	△ 320,880,000	負債の部合計	(1,426,489,073)	(1,775,934,452)	(△) 349,445,379
その他の固定資産	(1,282,211,018)	(1,550,004,054)	(△) 267,793,036	基本金の部			
借地権	2,257,500	2,257,500	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第1号 基本金	10,207,766,287	9,834,569,215	373,197,072
施設利用権	1,144,010	85,680	1,058,330	第4号 基本金	150,000,000	150,000,000	0
有価証券	3,838,498	3,838,498	0	基本金の部合計	(10,357,766,287)	(9,984,569,215)	(△) 373,197,072
差入れ保証金	350,000	300,000	50,000	消費収支差額の部			
退職給与引当特定資産	312,490,000	258,490,000	54,000,000	科 目	本年度末	前年度末	増 減
施設設備抵充引当特定資産	673,192,500	965,337,500	△ 292,145,000	翌年度繰越消費支出超過額	2,815,948,675	2,447,646,066	△ 368,302,609
長期火災保険特定資産	278,794,380	314,544,980	△ 35,750,600	消費収支差額の部合計	(△) 2,815,948,675	(△) 2,447,646,066	(△) 368,302,609
長期前払金	8,858,150	3,863,916	4,994,234	科 目	本年度末	前年度末	増 減
流動資産	(327,354,142)	(810,541,059)	(△) 483,186,917	負債の部、基本金の部			
現金預金	156,074,464	640,997,048	△ 484,922,584	及び消費収支差額の部合計	(8,968,306,685)	(9,312,857,601)	(△) 344,550,916
未収入金	118,109,552	114,752,588	3,356,964				
修学旅行費預り資産	49,218,584	50,347,506	△ 1,128,922				
卒業諸費預り資産	3,372,000	3,622,000	△ 250,000				
前払金	579,542	821,917	△ 242,375				
資産の部合計	(8,968,306,685)	(9,312,857,601)	(△) 344,550,916				

就職先一覧

子ども学科 就職先

◆幼稚園(公立)

松阪市立伊勢寺幼稚園

◆幼稚園(私立)

あおい幼稚園、暁の星幼稚園、大川幼稚園、エンゼル幼稚園、第二さくら幼稚園、サン幼稚園、白百合幼稚園、すずか幼稚園、清泉幼稚園、高田幼稚園、津幼稚園、津田幼稚園、津田大山田幼稚園、津田三滝幼稚園、道伯幼稚園、ときわ幼稚園、羽津文化幼稚園、藤幼稚園、ふたば幼稚園、まつさか幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園、めぐみの園幼稚園、有緝幼稚園、和順幼稚園

◆保育園(公立)

大台町立日進保育園、亀山市立第一愛護園、菰野町立菰野西保育園、志摩市立鶴方第二保育所、多気町立相可保育園、津市立北部保育園、津市立橋南保育園、松阪市立大津保育園、松阪市立春日保育園、松阪市立花岡保育園、南伊勢町立神原保育園、四日市市立羽津保育園

◆保育園(私立)

あかつき保育園、あおい保育園、尾鷲乳児保育園、いずみ保育園、いそやま保育園、大

里保育園、亀山愛児園、上浜保育園、岸田保育園、久保保育園、公園西保育園、さくら保育園、白塚愛児園、白鳩保育園、竹野の森こども園、大安中央保育園、第二はなこま保育園、たにの保育園、津愛児園、津カトリック保育園、つくし第二保育園、東部保育所、トーマスぼーや保育園、野登ルンビニ園、ながさわ保育園、ハートピア保育園、はなこま保育園、ひかり保育園、久居保育園、日永保育園、フジ保育園、藤水保育園、ほうりん保育園、ほだいじ保育園、三重愛育保育園、美里さつき保育園、みどり保育園、みどり第二保育園、みややま保育園、みらいの森ゆたか保育園、明和ゆたか保育園、箕曲保育園、睦保育園、杜の街ゆたか保育園、山室山保育園、ゆたか保育園、四日市厚生会保育園、ローズ幼児園、わかすぎ保育園、若葉保育園

◆施設

真盛学園、聖母の家、まもり苑

◆企業等

安藤塾、赤ちゃんデパートニワ、スギモト電気、北勢自動車学校、ライフプラン、山田商会、航空自衛隊

人間介護福祉学科 就職先

◆施設

うねめの里、すずか希望の里たんぽぽ、洗心福祉会、太陽の里、高田光寿園、はなのその、フルハウス、報徳園、むつみ園、ルーエハイム

◆進学

日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科、伊勢志摩リハビリテーション専門学校

オフィス情報学科 就職先

◆建設業

金子工業、吉田工業

◆製造業

テクノアソシエ、ナイテック工業、サイネックス、中川電化産業

◆電気・ガス・水道・情報通信業
ダイヤ燃商、日立メデイカルコンピュータ

◆卸小売業

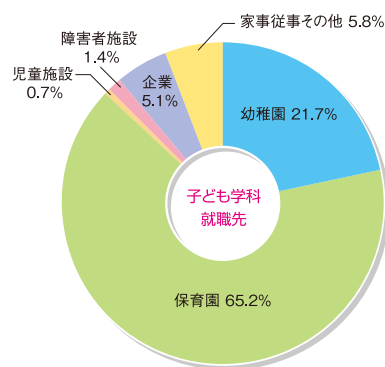
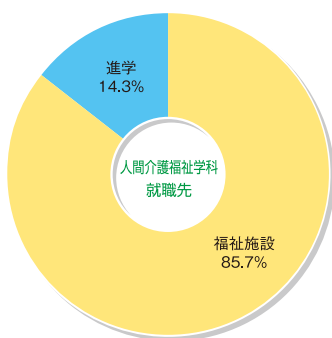
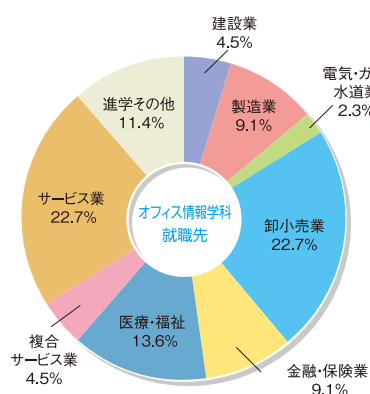
トヨタカローラ三重、マツオカ、津松菱、ホンダ四輪販売三重北、ミエライス、三重交通商事

◆金融・保険業

紀北信用金庫、桑名信用金庫、百五銀行、三重銀行

◆医療・福祉

岩崎歯科医院、大木歯科医院、カイバナ眼科クリニック、金原歯科医院、鈴鹿いとう眼科、鈴鹿グリーン歯科、三重県身体障害者総合福祉センター



◆サービス業

伊勢湾マリン開発、ガンデオホテルズ、亀山、ギガス、キング観光、津青色申告会、伊勢労務管理事務所、トヨタレンタリース三重、日本自動車連盟中部本部、鳥羽志摩農業協同組合、三重中央農業協同組合

◆進学

鈴鹿国際大学国際学科

編集後記

皆様のご協力によりまして高田短期大学通信第45号発行の運びとなりました。ご投稿にご協力頂きました各位に感謝申し上げます。

今号はキャリアアカテを用いた生涯就職支援、学生と共にある学科の活動状況、各研究センターの新たな取り組みなど、高田短大の特色がより透明になる内容を掲載いたしました。幅広くたくさんの方々に関心をもつてご覧になって頂ければ幸いです。また通信へのご意見・ご支援を賜りますようお願いいたします。

